ID No.	2020
研究課題名	遺伝子異常による骨髄系造血器腫瘍の発症機序解明
研究代表者	原田 浩徳 (東京薬科大学・教授)
研究組織	
受入教員	北村 俊雄 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	原田 結花 (文京学院大学・教授)
	合山 進 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究報告	
<p>本研究は、臨床症例から見出した遺伝子異常が造血器腫瘍発症機序に果たす役割の解明を試みるものである。これまでの研究成果から明らかになったエピジェネティック制御因子との相互作用を解析し、骨髄系造血器腫瘍の発症機序の解明を目指した。期間中に骨髄異形成症候群/慢性骨髄増殖性疾患 (MDS/MPN) の発症・進展にRUNX1aの過剰発現が関与していることを見出した。その機序の一つとしてスプライシング因子の変異を介した発現誘導が示唆された。成果をまとめ、現在投稿中である。さらに、モデルマウスを用いた解析を実施中である。</p>	